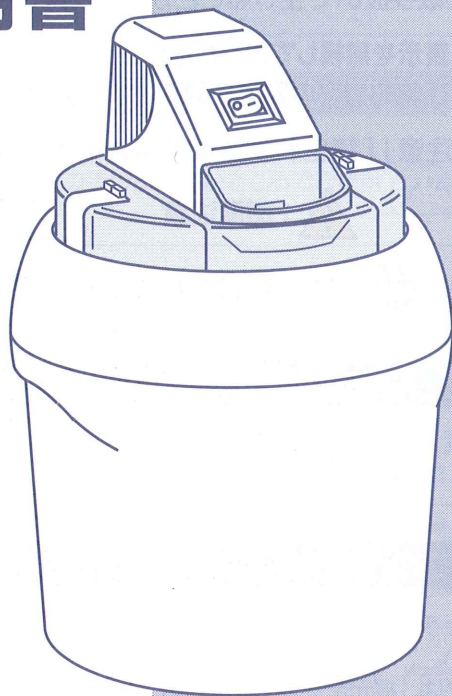


Mod.IC5000S

デロンギ アイスクリームメーカー

取扱説明書



このたびは、デロンギ アイスクリームメーカーをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。

製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

も く じ

・ 安全上の注意	1～2
・ 各部の名称とはたらき	3
・ 保冷ポット：使用上の注意点	4
・ アイスクリームを作る前に	5
・ 使用手順／アイスクリームを作る	6
・ お手入れのしかた	7
・ アイスクリームがうまくできない場合	8
・ 仕様	8
・ アフターサービス	裏表紙

安全上の注意 —— 必ずお守りください

- 1) ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
- 2) ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他人への損害を未然に防止するものです。いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 3) 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を明示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 4) 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制／指示」を示す絵表示が付いています。



：強制／指示



：感電注意



：禁止行為



：発火注意



：プラグをコンセントから抜く



：分解禁止

電源について



注意

・電源は、家庭用交流100V／50・60Hzを使用してください。



100V



コンセント、プラグについて



注意

- ・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。
- ・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは絶対に使用しないでください。
- ・プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ・使用時以外は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



電源コードについて



注意

- ・使用中は電源コードを引っ張ったり、ねじったり、重い物を乗せたり、角に当たったりしないでください。



電源コードについて

注意

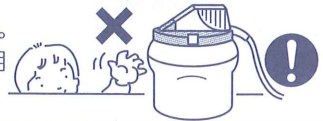
- ・使用中に電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止し、お求めの販売店か弊社サービスセンター（裏表紙参照）に点検／修理を依頼してください。
- ・傷付いたり破損した場合は、お求めの販売店か弊社サービスセンター（裏表紙参照）に修理／交換を依頼してください。
- ・使用中は、保冷ポットに触れないようにしてください。



使用場所について

注意

- ・平らなところ（テーブル等）に置いてください。
- ・小さなお子様の手の届かないところでご使用ください。



使用上の注意

注意

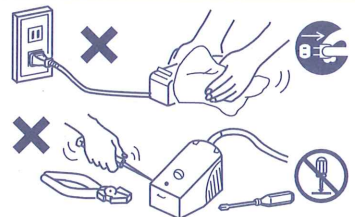
- ・冷凍庫から保冷ポットを取り出す際は、必ず鍋つかみやタオルなどを使い、決して素手で触れないでください。
- ・連続20分以上は、運転しないでください。モーター故障の原因になります。20分以上の運転が必要な場合は、一度スイッチを切り、3分ほど経って再びスイッチを入れてください。
- ・本製品は家庭用アイスクリームメーカーです。他の目的や場所で使用しないでください。
- ・保冷ポットを加熱しないでください。
- ・保冷ポットからアイスクリームを取り出す際は木のヘラ等を使い、金属製品はお止めください。
- ・万一、保冷ポット内部の保冷液が漏れた場合は、絶対に口にしないでください。



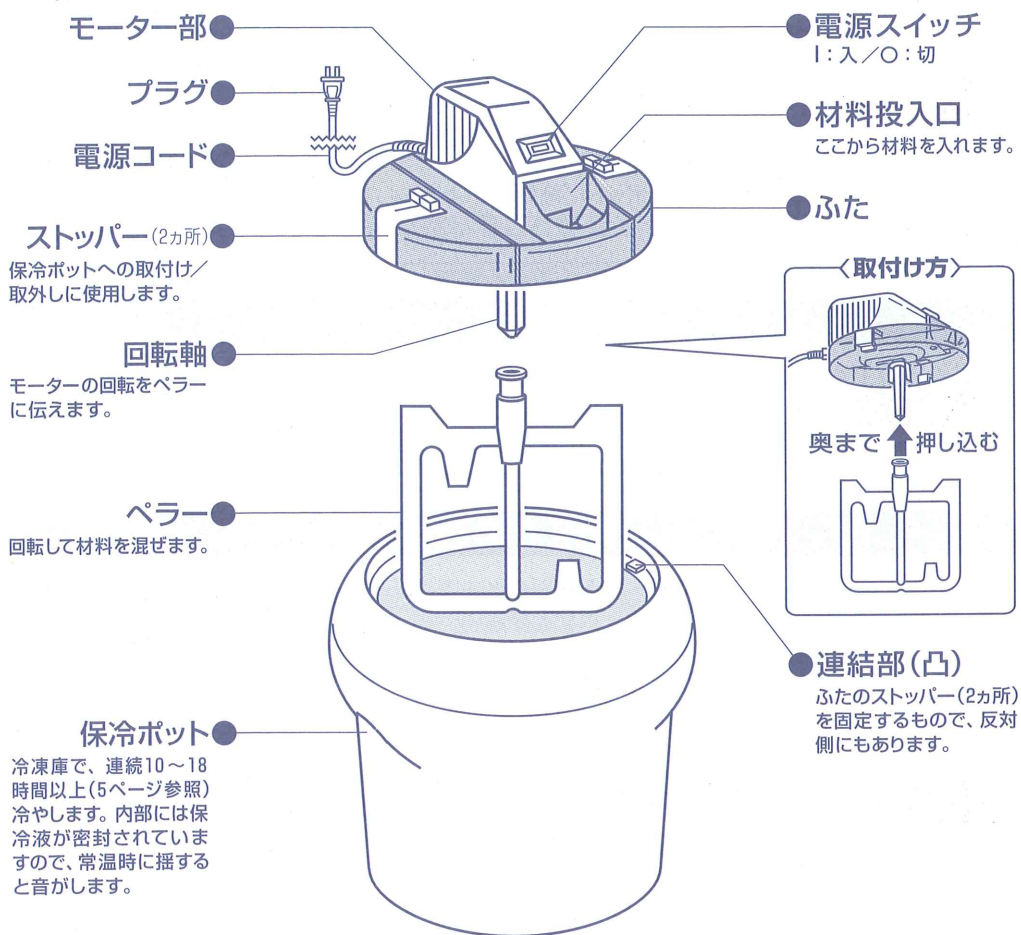
お手入れについて

注意

- ・お手入れをする前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・モーター部、電源コード／プラグを水に漬けないでください。
- ・本製品を解体したり、修理／改造することは、絶対にお止めください。



各部の名称とはたらき



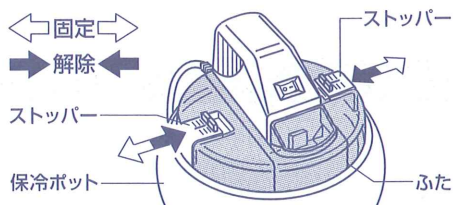
〈ふた付モーター部の外し方／取付け方〉

【保冷ポットから外す】

ふたの両側にあるストッパーを、カチッという
まで内側に押し込み、解除します。

【保冷ポットに取付ける】

- ① モーター部に回転軸とふたを取り付け、保冷
ポットの開口部にかぶせる
- ② ストッパー (2カ所) を連結部に重ね、カチッ
というまで外側に押し、固定する





※保冷ポットに取り付ける際は、事前に、両
方のストッパーを内側にセット(=解除)して
おいてください。

保冷ポット：使用上の注意点

保冷ポットは、アイスクリームを作る上で重要な役割をする部品(容器)ですので、以下の注意点を必ず守り、正しい使い方をしてください。

❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

✕  扱うときは、必ず両手でしっかりと持ってください。

✕  保冷ポットの表面や手が濡れているとすべり易いので、ご注意ください。

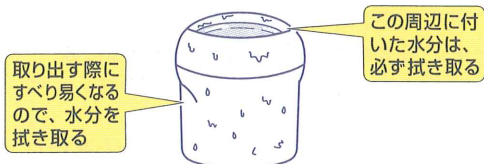
● 保冷ポットを落とした場合は・・・

保冷ポットの内部変形および保冷液が漏れた形跡がある場合には、ただちに使用を中止し、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。

● 保冷液が皮膚に付いた場合は・・・

保冷液は「塩化カリウム化合物」です。誤って触れたり、目に入ったり、口にした場合は、お早めに、水道水で洗い流してください。

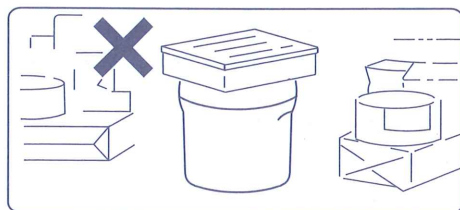
❗ 冷凍庫に入れる前に、表面や内側(開口部)周辺に付いた水分を拭き取ってください。



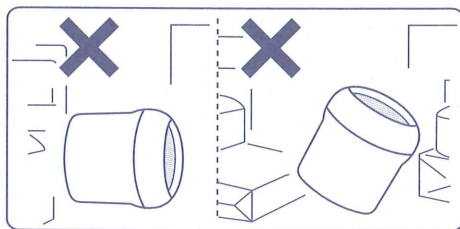
・特に、内側(開口部)周辺の水分が氷結すると、ふた付モーター部の取り付けができなくなりますので、ご注意ください。

❗ 冷凍庫には、ふたをしないで立てて入れてください。

・開口部をふさぐと、冷凍庫内の冷気が内側に入らず、保冷ポットが冷えません。



・傾いた状態では、保冷ポット内の保冷液が片寄り、冷え方にムラが生じます。



❗ 保冷ポットを続けて使用する場合は、保冷液を自然解凍で液状に戻してから、冷凍庫に入れます。



※自然解凍：お手入れ後、保冷ポットを室温に置いてください。

・解凍が不十分ですと、冷え方にムラが生じます。

・解凍した(=液状に戻った)場合、保冷ポットを振ると、ポチャンポチャンと音がします。

アイスクリームを作る前に (必ずお読みください)

アイスクリームを作る(右頁参照)ために必要な準備事項ですので、必ずお守りください。また、正しい準備をすることで、失敗を避けることができます。

冷凍庫について

- ・庫内温度が -18°C 以下になるスリースター
***以上の冷凍冷蔵庫をご使用ください。
- ・庫内の温度設定を「強」にします。
- ・冷気の循環を良くするために、庫内に十分なスキ間をつくってください。
- ・保冷ポットを冷やす前に、庫内の「霜取り」をしておきます。

材料の分量／全体量

- ・各材料の分量とバランスを守ってください。
 - ・材料を混ぜ合わせた全体量が、基準量(300～600cc)を超えないようにします。
- 全体量の「基準量」
- | | |
|---------|--------|
| ・ 300cc | 約 3 人分 |
| ・ 600cc | 約 6 人分 |

材料について

- ・アイスクリームメーカーに投入する前まで、約 5°C を目安に、冷蔵庫で別個に冷やしておきます。
※材料を混ぜ合わせて保管することはお止めください。早くいただきます。
- ・各材料は、投入直前に冷蔵庫から取り出し、ボウルなどに移してよく混ぜ合わせます。

アイスクリームを作る部屋の温度

- ・アイスクリーム作りは、 30°C 以下の室温で行ってください。
※室温が 30°C 以上ある場合には、アイスクリームが出来ないことがあります。

保冷ポットの冷凍

【冷凍する際の注意】

- ・保冷ポットだけを冷凍庫に入れて冷やします。
※モーター部を冷やさないでください。
- ・ -18°C 以下で、必ず「冷凍時間の目安」以上の時間をかけて冷やしてください。

【冷凍時間の目安】

- ・作るアイスクリームの量によって変わります。

材料の全体量	冷凍時間(目安)
300cc	約10時間以上
600cc	約18時間以上

※冷凍庫内の状態(食品の詰り具合やドアの開閉頻度など)によっては、時間の延長が必要です。

※保冷ポットは、冷凍庫に数日間入れていても問題はありません。

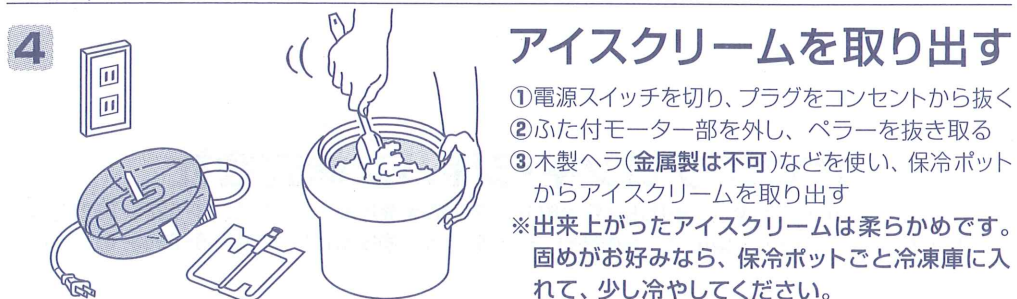
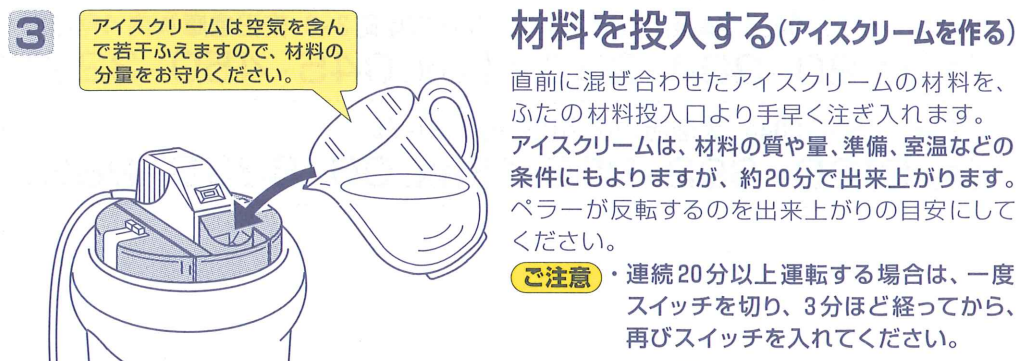
レシピ集からの応用

別冊のレシピ集に記されている材料の種類や分量を少しアレンジすることで、低脂肪、低カロリーのアイスクリームが作れます。

- ・やや軽めのアイスクリームを作るには…
生クリームの量を減らし、減量分を牛乳に代えて使います。
- ・甘さ控えめのアイスクリームを作るには…
グラニュー糖の量を、好みに合わせて半分まで減らします。
- ・ローファットタイプのアイスクリームを作るには…
植物性の生クリームと低脂肪牛乳を使い、グラニュー糖の量を好みによって減らします。

使用手順／アイスクリームを作る

保冷ポットは、使用する約10～18時間以上前から冷凍庫に入れておいてください。



お手入れのしかた

アイスクリームや材料など—生ものが触れる部分は特に清潔にしておくことが大切です。使用後は、各部品を取り外し、下記の要領でお手入れをしてください。

ぬるま湯で水洗いします

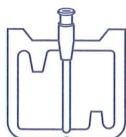
保冷ポット



ふた



ペラー



回転軸



台所食器用洗剤とぬるま湯(40℃以下)で水洗いし、後はよくすすいで乾かします。保冷ポットは、開口部を下にして水切りをしてください。

ご注意

- ・食器洗い機および乾燥機は、使用しないでください。
- ・クレンザー、ベンジン、シンナー等は、使用しないでください。
- ・保冷ポットの内壁は傷が付き易いので、柔らかいスポンジをご使用ください。
- ・各部品は水気をよく取ってから、組み立ててください。

乾いた布で拭きます

モーター部



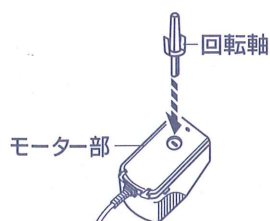
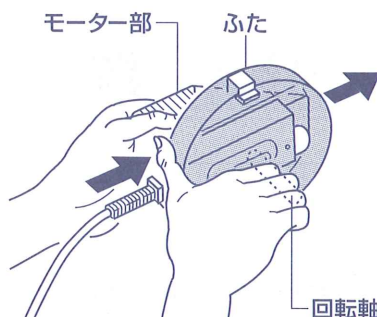
乾いた柔らかい布で拭きます。汚れが落ちにくい場合は、布をぬるま湯に浸し、固く絞ってから使います。

ご注意

- ・お手入れをする前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・モーター部および電源コード/プラグを濡らしたり、水に浸けないでください。

〈ふたの外し方／取付け方〉

- ① 電源コードがある方を手前にして、利き手側に回転軸がくるように持つ
- ② 利き手の親指をふたのへりにかけ、残りの指で回転軸を握る
- ③ 親指で、ふたを矢印の方向に押す
- ④ ふたを外した後、回転軸を抜く



※モーター部にふたを取り付ける際は、先に回転軸を取り付けてください。

アイスクリーム 保存のしかた

- ・保存温度は、-18℃以下。保存容器は、清潔できちんとふたのできるもの
- ・保存容器には、「調理日」と「アイスクリームの種類」を明記しておく
- ・保存期間の目安

{	・加熱していない材料を使ったアイスクリーム	1週間
	・加熱した材料を使ったアイスクリーム	2週間
	・シャーベット	1～2週間

アイスクリームがうまくできない場合

アイスクリームがうまくできない場合は、以下の事項をチェックしてください。

次の点をお調べください		処 理 方 法
冷凍庫	・ 庫内温度が、 -18°C 以下になっていない	・ スリースター <input type="text" value="米"/> <input type="text" value="米"/> <input type="text" value="米"/> 以上の冷凍冷蔵庫を使用する
	・ 庫内の温度調節が、「通常」のままである	・ 庫内の温度調節を「強」に設定する
	・ 庫内に霜がある	・ 事前に、必ず「霜取り」をしておく
	・ 食品等の詰め過ぎ	・ 冷気の循環を良くするために、庫内にスキ間をつくる
保冷ポット	・ 保冷ポットの冷凍中に、冷凍庫の扉を頻繁に開けた	・ 保冷ポットの冷凍時間を延長する
	・ 冷凍時間が短い	・ -18°C 、庫内の温度調節を「強」にして、5ページ「保冷ポットの冷凍」で示した冷凍時間の目安以上に冷やす
	・ 保冷ポットの開口部をふさいだ	・ 保冷ポット内側に冷気が入るように開ける
	・ 冷凍庫の手前に置いた	・ 冷凍庫の奥（冷気噴出口近く）に置く
	・ 保冷ポットを寝かしたり斜めにした	・ 内部の保冷液が片寄るので、必ず立てる
材料	・ 冷凍庫から出して、10分以上経った	・ 準備ができるまで、冷凍庫に入れておく
	・ 常温のまま、保冷ポットに入れた	・ 作業の直前まで、冷蔵庫で冷やしておく
	・ 分量を間違えた	・ 付属のレシピ集を参照し、正しい分量と作り方を守る

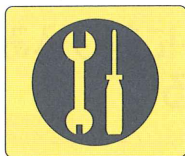
仕 様

製品名称／型式番号		デロンギ アイスクリームメーカー／IC5000S					
定格	電 圧／周 波 数	AC - 100V／ 50・60Hz					
	消費電力／運転時間	14W／20分（連続運転）					
外 形 寸 法／重 さ		高さ250×幅190×奥行190mm／2.7kg（各部品含む）					
保 冷 ポ ッ ト の 容 量		1.5ℓ					
部 品 名		保冷ポット		回転軸	モーター部	ふた	ペラー
材 質	表面	内側	アセタール 樹 脂	ABS樹脂	AS樹脂	アセタール 樹 脂	
	ポリスチレン	ステンレス					
保 冷 液（保冷ポット内）		塩化カリウム化合物					
電 源 コード の 長 さ		1.4m					
付 属 品		レシピ集（1冊）					

アフターサービス

- 使用中に異常が生じたときは、ただちに電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めになった販売店が弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。
- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に **1.お求めの時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。
 なお、宅配便などを利用して、弊社サービスセンターに直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。
- 保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 真心点検のお勧め**：保証期間が過ぎて気になる点がございましたら、安全のために、専門技術者による点検(持込み)をお勧めします。点検の依頼方法、料金などにつきましては、下記の弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
 ※下の枠内に、購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



購入年月日： 年 月 日

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00まで)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル
Tel. 0120-804-280 / Fax. 045-450-3291

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25
Tel. 0120-692-880 / Fax. 06-6368-2881

DeLonghi

デロンギ・ジャパン株式会社

本 社：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル TEL. 03-5256-6321(代)
 大阪支店：〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル TEL. 06-6263-6116(代)



環境にやさしい無塩素漂白エコバルブ(ECF)とソイックを使用しています。